

創造・参加・実践  
No.645

最新のJR西労組運動をチェックしよう!

JR西労組HP (http://www.jrw-union.gr.jp)



ダイレクトニュース(メール)



JR西労組 LINE



西日本旅客鉄道労働組合

〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目1番18号

西 阪 急 ビ ル 9 階

TEL06-6375-9869代 JR071-7155代

(FAX)06-6373-4133 JR071-7151

発行責任者 上村 良成

編集責任者 石田原 潔

# 「鉄道従事者と鉄道全体の安全確保」に全力を!

## 伯備線触車事故から14年 安全への誓いを新たに

2006年1月24日に、伯備線触車事故が発生してから14年が経過した。2020年1月24日、米子地方本部で、2020年安全の集いが開催された。今年のは暖冬の影響に伴い、例年に比べ暖かい中、多数の組合員が参加した。安全の集い終了後、参加者全員で、根雨駅構内の安全碑において、献花行動を行い、3名の御霊に対し哀悼の誠を捧げるとともに、二度と同じような事故を発生させないよう、安全への誓いを新たにしました。

米子ワシントンホテルプラザで開催された「2020年安全を誓う集い」には、約100名の組合員が参加した。中央本部からは、松原副執行委員長、池上賞金対策部長、中島組織業務部長、山中工務部会長の4名が出席した。主催者代表者挨拶から始まり、来賓紹介の後、野村業務部長より、事故概要の説明、事故後の経過と対策について報告があり、参加者全員で伯備線触車事故直後ニュース映像を視聴した。

その後、事故当時米子地方本部の書記長で、現在連合鳥取副事務局長の佐貫馨氏より、特別講義「伯備線触車事故の教訓を活かすためには、何が行われ、事故発生以降の状況や個人としてできること組織として取り組むこと等について講義が行われた。安全の集い終

「鉄道従事者の安全確保が鉄道全体の安全に繋がる」と弔辞を述べる、中央本部松原副執行委員長



伯備線安全碑の前で安全を誓う



伯備線安全碑の前で安全を誓う

行委員長が弔辞を述べ、「働く者の一人ひとりの安全確保が、ひいては鉄道全体の安全の確保に繋がる」との信念の下、「すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」を完遂すべく全力を尽くすこと、安全最優先に全力で取り組んでいくと誓った。

### 明石朝霧駅間 触車事故から19年

また、2001年1月24日に、山陽本線明石朝霧駅間で発生した触車死亡事故から19年が経過した。加古川保線区西明石管理室に、JR西労組の求めで、2017年3月に建てられた安全の碑の前で、神戸地本の大内委員長の協力を強く要請する。

### 安全最優先で重大労災防止の体制構築を!

#### 第2回拡大安全対策委員会

中央本部は、1月22日(水)に、西阪急ビル地下会議室において、各地本総支部部会代表者総勢20名が出席し、第2回拡大安全対策委員会を開催した。

安全対策委員会の事務局長を務める川原業務部長より、前回委員会以降の経過報告がなされた。特に、前回委員会で行ったグループディスカッションの内容について、「JR西日本とグループ会社や協力会社との関係」等の課題が確認された。

また、注意事項・労働災害の発生状況が報告され、輸送障害が増加しているものの、注意事象が減少していることが報告された。一方で、重大事故や重大労災に直結しかねない、危険な事象が続いていることについて、引き続きその検証と



経過報告をする川原業務部長

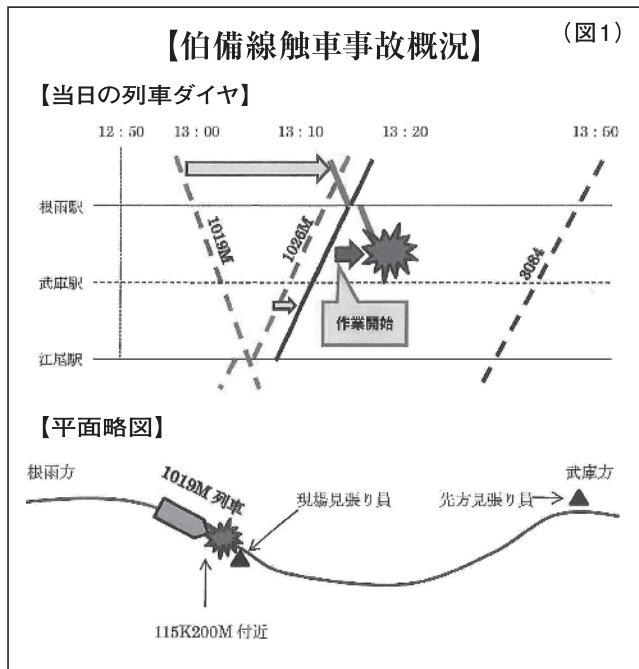
会議全体を通して、引き続き、各現場やグループ会社、協力会社への教育の徹底を図り、すべてのJR関係労働者の、重大事故防止の体制構築に取り組んでいくことを確認し合った。



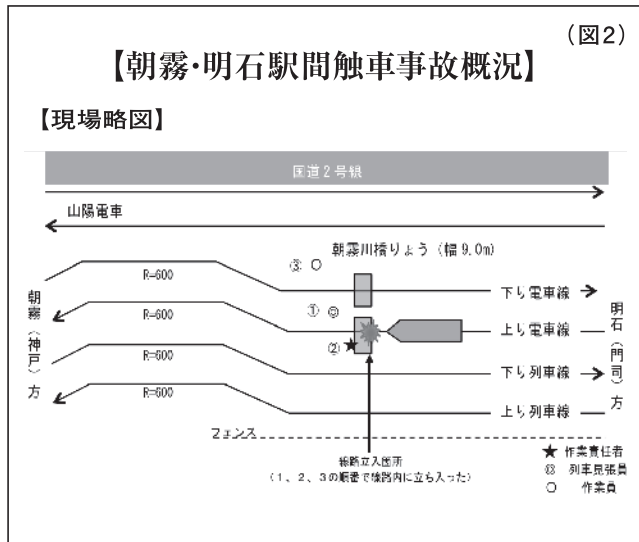
御霊に安全を誓う神戸地本大内委員長(写真上)と須原書記長(写真下)



100名が安全の集いに集まった



2006年1月24日13時18分頃、JR伯備線の根雨駅～武庫駅間で保線作業を行っていた仲間3名が、遅れてきた特急列車(スーパーやくも9号)に触車し命を落とした。事故後、再発防止に向け、GPS列車接近警報装置、可搬式区間防止装置(ATS)、触車事故防止準則の改正など、様々な安全対策が講じられた。



2001年1月24日9時34分頃、山陽本線明石朝霧駅間の朝霧川橋梁上り電車線において、線路内で現場調査を行っていた入社5年目の仲間1名が、姫路発米原行の快速電車(電第736T列車)に衝撃し、命を落とした。事故後、5秒ルールの制定などの安全対策が講じられた。